

土方歳三 ってどんな人？

ひじかたとしぞう

土方歳三 年表

そもそも土方歳三は何をした人なのか。

歳三の生涯と彼が生きた時代についてまとめておこう。

日野から京都へ 新選組結成！

土方歳三は1835年、武蔵国多摩郡石田村（現在の日野市石田）の裕福な農家に、10人兄弟の末子として生まれました。日野の人々は幕府への忠誠心が強く、また、自衛のために、剣術の稽古が盛んに行われていました。歳三も武士に憧れ、姉の夫で日野宿名主・佐藤彦五郎が開いた道場に通うようになります。そこで後に歳三とともに新選組の主要メンバーとなる近藤勇、井上源三郎、沖田総司たちに出会います。



が悪化し、幕府は上洛する將軍を警護するための浪士組を募集し、歳三たちもこれに加わり京都へ向かいます。この浪士組を母体に結成されたのが新選組です。近藤勇が局長、歳三が副長となり治安維持に活躍。特に1864年の池田屋事件では潜伏していた尊王攘夷派を襲撃し、新選組の名声は天下にとどろきました。

幕府が生きた時代は、江戸幕府が終りを迎える「幕末」の時代でした。歳三が十代の頃に黒船が来航、圧力を受けた幕府はついに開国を決定しますが、それに対し地方の藩からは不満が出始めます。特に京都では治安

幕府のために戦い
誠を貫いたラストサムライ

開国以来の混乱はいよいよ幕府の土台を揺るがします。新政府を立ち上げ新しい日本を作ろうという機運が高まり、1867年、政治の実権を天皇に返還（大政奉還）。さらに天皇を中心とする政治に戻す宣言が出されました（王政復古の大号令）。これに反発した旧幕府軍と新政府軍が衝突、戊辰戦争が始まります。歳三たちは旧幕府軍に合流しますが、敗戦が続き、北へ、北へと転戦していきます。そのなかで近藤勇が新政府軍に捕らえられ、長年を共にしてきた二人はついに別れを迎えます。

近藤を失った後も歳三は旧幕府軍の司令官の一人として戦いましたが、箱館（函館）での激戦で銃弾に倒れ、生涯を閉じました。旧幕府軍は降伏、その後、日本は近代化へと突き進みます。農家に生まれながら、武士の時代の終わりに誰よりも武士らしく生き、剣と類まれな統率力で軍の司令官にまで上り詰めた歳三は、日野が生んだ幕末のヒーローなのです。

KEYWORD 1

さとう ひこごろう

佐藤彦五郎

日野宿名主で歳三の義兄にあたります。自宅兼本陣に剣術の道場を開き、歳三、近藤勇らが出会う場を作り、歳三たちが京都へ行ってからも新選組を支援し続けました。歳三たちの死後は顕彰碑建立に尽力するなど新選組に大変ゆかりの深い人物です。

KEYWORD 2

てんねんりしんりゅう

天然理心流

近藤内蔵之介が江戸時代中期に創始し、近藤勇が四代目宗家を継ぎました。新選組が活躍したことで有名になった天然理心流は古武道の流派のひとつで、歳三も佐藤彦五郎の道場で身につけました。新選組の強さは天然理心流の稽古のたまものといわれています。

KEYWORD 3

日野に届けた思い

箱館戦争で死を悟った歳三。自分を慕う若い隊士を道連れにしたいと、自分の写真を遺品としてふるさと日野に届けるよう遣い出し、その隊士は戦死を免れたといわれます。後半生は京都で活躍し全国を転戦した歳三でしたが、心には最後までふるさとへの思いがあったのでしょうか。

KEYWORD

土方歳三を知る 5つのキーワード

歳三の故郷・日野には、人々の間で伝えられてきた逸話が数多く残ります。5つのキーワードで紹介。

KEYWORD 4

モテ伝説

写真の通りイケメンだった歳三は、女性にモテモテ。「モテ自慢」するおちゃめな一面も？自分に思いを寄せる京都の芸妓の名前を書き連ね「モテすぎて困る」と記した、歳三のものとする手紙が、東京・町田市の小島資料館に残っています。

KEYWORD 5

ぼたもち

京都から帰郷した歳三が慌ただしく親戚の家を訪ねたときのこと。その家のおばあちゃんに「ぼたもちを食べていけ」と言われましたが、「急ぐから」と断ろうとしました。すると「ぼたもちの一つも食べていけないようだと戦に勝てるか」とおばあちゃん。歳三はおばあちゃんに従い、ぼたもちを食べて行ったというエピソードも伝わっています。

戊辰戦争からの歳三の足跡 (1868年1月開戦)



| 旧幕府軍として北へ転戦 | 京都時代 | 日野時代 |
|---|---|---|
| 1869年 5月 箱館戦争で34歳で戦死 戊辰戦争が終わる | 1868年 1月 鳥羽伏見の戦いで 戊辰戦争が始まる | 1835年 5月 武蔵国多摩郡石田村 (現在の東京都日野市 石田)に生まれる |
| 9月 元号が「明治」に | 1867年 12月 徳川慶喜が第15代将軍に 大政奉還 | 1853年 6月 ペリーが浦賀に来航 |
| 5月 沖田総司が病気で死亡 | 1866年 12月 京都で坂本龍馬らが 暗殺される(近江屋事件) | 1860年 3月 桜田門外の変 |
| 4月 千葉・流山で近藤勇が 新政府軍に投降。 後に処刑される | 1864年 7月 禁門の変で新選組が活躍 | 1859年 6月 日米修好通商条約を結ぶ |
| 12月 王政復古の大号令 | 1863年 2月 近藤勇、沖田総司らと 將軍を守るための浪士組 に参加し京都へ向かう | 1858年 6月 天然理心流に入門 |
| | 1863年 3月 新選組が京都の警護を 正式に命じられる | 1857年 3月 壬生浪士組を結成 |
| | 1863年 6月 池田屋事件で新選組が 一躍有名になる | 1856年 8月 八月十八日の政変で活躍 「新選組」と命名される |
| | 1863年 9月 芹沢鴨を暗殺 | 1855年 3月 斧沢鴨を暗殺 |

※太文字は土方歳三・新選組に関わる出来事
(新選組のふるさと歴史館による)